

平成 28 年度巡回特許庁開催実績

○参加者数:6 都市で 1600 人が参加

昨年度は 6 都市で巡回特許庁を開催し、延べ 1600 名が知的財産制度や最新動向に関するセミナー等に参加し、知財に関する知見を深めました。

開催都市(カッコ内は参加者数):

名古屋市(556 名)、大阪市・京都市(529 名)、広島市(207 名)、福岡市・鹿児島市(299 名)

○参加者の満足度 80%以上

アンケートでは参加者の 80%以上が内容に満足したと回答し、「知財活用の重要性がわかった」「他社の知財戦略を学べた」という感想が多数寄せられました。

(コメント抜粋)

- ・知財の力をうまく活用して企業活動を進めていく必要性を感じた。
- ・特許は難しいイメージだったが、企業が生き残っていくために重要だとわかった。
- ・他社の知財戦略について知る良い機会になった。
- ・特許庁の地方ユーザーに対する熱意が感じられた。
- ・知財を商品の差別化戦略に活用できるとわかった。
- ・自社の知財活動強化の参考になった。

○出張面接審査を集中的に実施

特許庁審査官が地域に出向き、出願人等と直接面会して審査を行う「出張面接審査」を巡回特許庁の期間中に開催地域(中部・近畿・中国・九州)において集中的に実施し、計 552 件の審査を行いました。



昨年度開催したセミナーの様子